

「ECC ジュニア奮闘記」



子育てでやり残したことは無いかと考えた時、子供たちに英会話を習わせたなら良かったという思いがずっとありました。

息子たちの子供が4歳と5歳になった時、ECC ジュニアに通わせたいと申し出ました。保育園と教室の送迎も兼ねて通わせるうちに、自分で教室を開きたいという思いが芽生えてきたのです。神戸センターに問い合わせると講師に年齢制限はなく、去年は赤穂市で70過ぎの講師が誕生したとのこと。一度の人生、チャレンジしようと思立ちました。それから半年間神戸センターの研修に通い、翌年の春に教室をオープンしました。

学校の先生になることを熱望していた亡き両親への恩返しの気持ちもありました。

4・5・6年生のクラスに4名、1年生のクラスに1名、中3のクラスに1名、幼稚園児2名からのスタートでした。

最初の頃はECCのマニュアルに沿って勧誘活動（ポスティングやビラ配り…）をしていましたが、今年は止めました。現在の火曜日・水曜日・木曜日の週3日サイクルが限界だと感じたからです。ECCでは、例えば去年入った5年生（現6年生）と今年入った6年生は同じクラスに入れません。レベルに差があるという前提で学習内容も変えているからです。生徒が新たに入るごとに教室数も増やさないといけないのが現実です。

そんな中、昨秋、算数を教えてくれないか？という問い合わせが2件ありました。ECCセンターに問い合わせると、神戸に来て試験を受けて合格しないと開講出来ないとのことでした。ちょうど明石で落語会があり、一席披露してから車で着物から服に着替え、そのままJR三宮駅に向かいました。小学生の算数だからと気軽に受けたのですが中学生向けの教室の試験もあり、2時間以上もかかりました。中学生の数学を解くのは何年振りだろうと思いつつ悪戦苦闘しました。何日か後に合格通知が来て、晴れて今春から小2と中1の算数・数学のクラスも増えました。英語と違って下準備は殆ど要らず、時間もあっという間に過ぎていきます。

数学教室を受け持って気付いたことは、自分は英語より数学の方が得意だったという事実です。英語は未だに準備に相当時間を掛けないと授業が出来ません。そんな自分が情けなかったり、生徒さんに申し訳ないと思いつつ3年目の春を迎えました。自分が出れることを精一杯真心こめて授業することを念頭に日々レッスンに励んでいます。

気が付けば68歳。家業とECC、家事、子守、時々落語。思い付きで次々いろんなことに手を出し過ぎて、自分を追い込んでしまっている気がします。体調も65歳を境目にいろいろ故障も出てきたり、持病を持つようになりました。忙しすぎるのも程々にしないとと思いつつ日々を過ごしています。

落語とECCは何の関連性もなく始めましたが意外な共通点もありました。それは人に何かを伝えるということです。生徒さんに教える中で落語から教わった表現力が大いに役立っています。行き当たりばったりで歩んで来た人生ですが振り返ると1本の筋が通っていることもあるんだなぁと気づきました。

これから70歳に向けて何がしたいかと考えた時、思い浮かべるのが、絵を描きたいと言う想い

です。これも今していることに何の関連性もなく、また自分を追い込みそうですが、一度の人生、チャレンジしたいと思っています。もともと絵を描くのが好きで美大を目指していました。高校で油絵を習って挫折しましたが、もう一度絵を描いてみたいという想いは増しています。まだまだ絵を描ける状態では無いのですが 70 歳を目標に環境を整えていきたいと思っています。いつか絵を描くことも ECC や落語と結びついていくような気がしています。

最後に、テレビで「笑い飯」の哲夫さんが低料金の学習塾「寺子屋こやや」を運営している特集がありました。その中で彼が「僕がちっちゃい頃、近所に月 3,000 円位で勉強をしてくれるおばあちゃんがおったんですよ。それが良かった」と言っていました。私の ECC 塾もそんな風になったら良いな…と思っています。